

【特集】津奈木町こども議会

津奈木町の将来、 思いを乗せて—

10月20日(水)に開かれた津奈木町こども議会。こども議会は津奈木町の将来を担う子どもたちに町政を身近に感じてもらうと共に、まちづくりに進んで参加する意欲を育てるため開催しました。中学3年生35人が町へ質問や意見、提言などをしました。

令和3年度津奈木町こども議会 登壇生徒 ※敬称略。

【議長】雑賀 永照

【副議長】山本 さゆり

【質問者】齋藤 広平 伊藤 光健 石田 朔太郎 深水 瞳人
三ツ石 咲月 金澤 学志 山下 香澄 末松 ほのか
野田 恭生 岩崎 桜太郎 山本 弥京 長濱 優仁

議会の最後に、町長が「皆さんの質問からは、将来、こんな町にしたいという思いが伝わりました。実現可能なものはすぐに、難しいものも皆さんと一緒に考え、より魅力あるまちにしていきたい」とまとめの言葉があり、生徒を代表して岩崎桜太郎さん（日添）が「町の現状や住民生活と行政との関わりなどを深く考えることができました。今後私たちの視点でまちづくりのために貢献していきたい」とお礼を述べました。

町の将来を真剣に考えた子どもたちの声に、町も本気で向き合い、真摯な答弁が繰り返された「津奈木町こども議会」。この日の質問や意見を次のページで紹介いたします。津奈木町の将来を担う子どもたちの声をご覧ください。

担当課長が一つひとつ丁寧に答弁しました。答弁に熱心に耳を傾けている様子から、町の将来について真剣に考えていることがうかがえました。

津奈木町を担う大人に

初めてのこども議会

「これから、津奈木町こども議会を開会します—」

10月20日(水)の町議会議場。いつもの議会の雰囲気と異なり、町議会議員が座る席には子どもたちの姿がありました。この日、本町では中学3年生35人が町の議員を務め、町に意見や提案などをする「津奈木町こども議会」が開かれました。

中学生が自分の目線で
まちづくりを考える

町や世の中で起こっているさまざまな出来事、自分たちの身の周りや将来のことを考え、中学生の視点から町へ質問や意見を出しました。

雑賀永照さん（竹中）と山本さゆりさん（丸岡）が交代で議長役を務め、代表して12人のこども議員が登壇。環境を守るための取り組みや人口減少対策など、町をより良くするためのさまざまな提案や、まちづくりに関する内容について質問し、山田町長や

Q

(質問者) 齋藤 広平さん・伊藤 光健さん
津奈木町に勉強できる場所をつくってほしいです。

A

公民館を勉強する場所として使いたいと、区長に頼んでみてはどうでしょうか。

皆さんの住んでいる地区の公民館を勉強する場所として使わせてくださいと、区長に皆さん自身で頼んでみてはどうでしょうか。そのときに話し合う必要があるかも知れませんが、自分たちの抱える課題を解決するために行動を起こすのも生徒会活動などでこれまで培ってきた力の一つだと思います。



Q

(質問者) 齋藤 広平さん・伊藤 光健さん
津奈木町に無料 Wi-Fi の設置などの予定はありますか。

A

膨大な数のスポット整備による経費・時間がかかるため、現在は予定していません。

膨大な数のスポット整備と経費・時間がかかりますので、現在予定していません。公民館などに Wi-Fi 環境を整備し、少人数でアクセスし学習する方法、ネット環境がない家庭では保護者をお願いするなどの方法があると思います。



Q

(質問者) 石田 朔太郎さん・深水 瞳人さん
津奈木町の自然（環境）を守るためにどのようなことをしていますか。

A

町主体の環境美化作業や各種団体などがボランティアで清掃作業を行っています。

町主体の環境美化作業や団体・地域がボランティア活動として行われる清掃作業で、ごみなどを回収しています。環境にやさしいまちづくりのために、「ごみを捨てない・燃やさない」「施設を汚さない」ように有線放送などでの周知、「ごみ捨て禁止の看板」を設置するなど引き続き対策していきます。



Q

(質問者) ミツ石 咲月さん・金澤 学志さん
町の外灯の設置は可能ですか。

A

暗い所や事故が起こりやすいような場所で、要望があれば設置しています。

防犯灯は暗い所や事故が起こりやすいような場所で、区長から要望があったら設置しています。要望があれば、道路管理者や教育委員会、区長などの関係機関と連携し、通学路などの危険な場所を点検しながら、小中学生が安心して登下校ができるよう、取り組んでいきます。





津奈木町子ども議会

Q & A

中学生の質問と意見

質疑応答と中学生から出た意見を一部紹介します。



Q

(質問者) 山下 香澄さん・末松 ほのかさん
高齢者が住みやすいまちづくりのために何をしていますか。

A

高齢者の活動支援や、安心安全に地域で生活できるよう取り組んでいます。

地域包括支援センターによる相談事業や介護予防事業、高齢者の自宅のバリアフリー化などの改修支援、町の施設でも、バリアフリー化への取り組み、ユニバーサルデザインに基づき誰でも利用しやすい施設計画・改修を今後も考えていきます。



Q

(質問者) 野田 恭生さん・岩崎 桜太郎さん
津奈木町のゆるキャラは作らないのですか。

A

魅力的なゆるキャラができる確証がなく、難しいと考えます。

くまモンのような魅力的なゆるキャラができる確証がなく、その効果も計れないことなどから難しいと考えます。町をPRする手段として、地域おこし協力隊とも連携し、ホームページや SNS、YouTube によるインターネットを活用した動画配信など、時代にあった効果的な手段を取り入れながら進めていきます。

Q

(質問者) 山本 弥京さん・長濱 優仁さん
人口を増やすための取り組みは何をしていますか。

A

人口を「増やす」よりも、減少をいかに「抑える」ことに重点を置いています。

日本全体で人口減少が進み、2060 年に1億人程度の人口を維持するとの展望が示されています。町の人口は、2020 年の国勢調査で 4,255 人、2060 年には 1,629 人まで減少する見込みです。町では、これを 2,872 人に抑えるため、「津奈木町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少抑制策に取り組んでいます。

Q

(質問者) 山本 弥京さん・長濱 優仁さん
津奈木町の税金の使い道を教えてください。

A

主要プロジェクトとして掲げる4つを中心に予算を配分しています。

「津奈木町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標に基づき、町のメインテーマである「住みたくなるまちづくり」実現のため、主要プロジェクトとして掲げる「少子高齢化・人口減少対策」「農林水産業の振興」「地元企業育成・雇用確保」「観光の振興」を主軸として、予算を配分しています。